

おかげさまで……

河内屋が登録文化財になります！**登録文化財とは？**

国宝・重要文化財などの「指定」文化財とは異なり、一定の条件を満たした建造物等を活用しながら保存する新しい制度。築50年以上で「歴史的景観に寄与」「造形の規範」「再現が困難」のいずれかに該当するものを文化庁が選定します。96年以降、全国で7500以上が登録済。NPO等がギャラリーに改装した旧河内屋も、6月19日の文化審議会答申で登録文化財とするよう答申されました。

ギャラリーに改装された河内屋の内部

教育委員会から

昭和10年前後は、戦前の久留里にとって最も賑わった時代といえるでしょう。河内屋はその時代を証明する重要な建物です。今回、久留里にとっても、君津市にとっても記念すべき第1号の文化財登録が内定しました。久留里の貴重な建物群が見直される、第一歩になることと思います。

【君津市教育委員会 生涯学習課 文化係】

NPOから

私たちは、まちづくりを進めていく上で大切なことは地域の資源をよく知りそれを活かすことだと考えています。

今回の「登録有形文化財建造物」も「知る・活かす」を基本方針に3年間進めてきた活動の一つの成果ですが、同時に一つの過程にすぎません。

私たちの提案に耳を傾け実際の改修費用の負担までもしていただいた所有者の理解に応えるためにも、この貴重な建物を「活かす」ことこそ大切なのです。

所有者はもちろん、指導いただいた専門家や作業に参加してくださったボランティアの皆さんのご厚意に対し感謝しています。また、作業や対話を通じ今回の事業で私たち自身が成長できたことを重ねて感謝したいと思います。

現在、「ギャラリー河内屋」は私たちNPO法人久留里フィールドミュージアムが運営しています。地域にぎわいを取り戻し活気溢れるまちづくりを進めていくことが私たちの活動の目的です。

私たちのまち久留里は「活かす」べき資源にあふれていると思います。恵まれた資源がある以上、「知る・活かす」まちづくりは可能性に溢れたものであると信じます。

作品や建物の魅力をお楽しみいただき、同時に地域の課題や疑問、希望について住民の皆さんのお話をうかがえれば幸いです。【NPO法人久留里フィールドミュージアム】



ボランティアによる壁塗り作業

建築士から

「何だこれは？」ベニヤ天井の裏を覗いた時、銭湯のような豪華な格天井がそのままの状態が残っているのを見て驚きました。外観の素晴らしさは知っていましたが、合板に覆われたやや素っ気ない内装のその裏には、昭和初期の立派な仕つらえが残っている。そう知った時「ここを再生しよう」との意を強くしました。

NPOの皆さんと一緒に解体や壁塗り作業をしながら、この空間を使わせてくださった所有者の厚意に応え、末永く活用してゆくためには「見える部分をあまり変えなければ、店や住居として改修することも自由」という登録文化財制度がぴったりだ、と思ひ了承を得ました。

でも、久留里市場には、明治・大正期の貴重な建物がまだまだ残っています。「次はウチを！」の立候補もお待ちしております。

【渡邊義孝／風組・渡邊設計室】



壁の下地作り

古い壁の解体

残っていた格天井

**所有者から**

古いこのまちなみをなんとかしたいと思っていました。「こんな店が文化財？」との思いもありましたが、NPOの皆さんとの出会いがきっかけでここを見直してもらい、今は「きれいにしなくちゃ」と感じています。先祖から預かったものを大切にしていきたい、と思います。【小川貞子】